

概況(図1, 表1)

8月4~6日に千葉丸(317ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮は石廊崎沖 33°10'N 付近を東進し,伊豆諸島海域から房総沖を東北東へ流れ,流型はN型であった。離岸距離は「平年並」であった。

水温(表2, 図2・3・5)

海面では 22 ~ 28, 100m 深では 12 ~ 23, 200m 深では 8 ~ 20 であった。両海域の各観測層は概ね「平年並」で,平年偏差は外房海域では正の偏差,銚子・九十九里海域では負の偏差であった。外房海域の海面は,先月と比較すると4 昇温した。

塩分(図4・5)

海面では 33.7 ~ 34.1, 100m 深では 34.4 ~ 34.9, 200m 深では 34.2 ~ 34.9 であった。海面では先月より 0.3 程度低くなった。また,海面から 40m 付近までは 34.5 以下であり,先月よりも 20m 程度厚くなっていた。野島崎南東定線では,水深 300 ~ 700m,太東岬南東定線では,水深 300m 以深に 34.3 以下の塩分極小層があった。

流況(図1・2)

外房海域の 5 ~ 40 マイル沖合域に東北東へ 2.0 ノット以上の流れがあった。銚子・九十九里海域では,概ね南東から南西へ 0.5 ノット以下の流れであった。

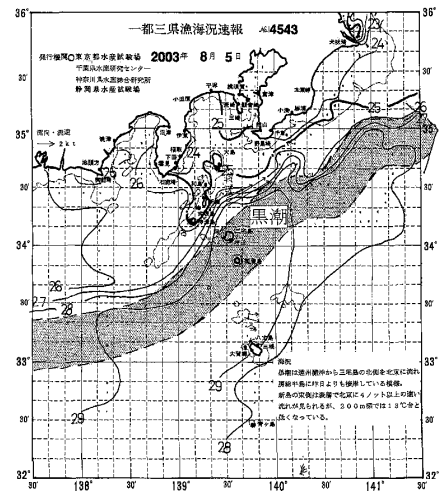


図1 一都三県漁海況速報

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2003年8月)

基点	方向	距離(マイル)	階級
野島崎	南東	38	平年並
太東岬	南東	50	-
犬吠崎	南東	(58)	平年並

\*(数字)は毎月速報 平成15年第31・32号 (海上保安庁海洋情報部)より

表2 水温の評価(2003年8月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	26.3	0.9	平年並	24.4	-0.3	平年並
50	18.96	0.08	平年並	17.80	-1.08	平年並
100	18.07	1.87	やや高め	14.02	-1.39	平年並
200	13.20	0.95	平年並	10.42	-1.27	平年並

\*水温は各海域の評価点の平均値

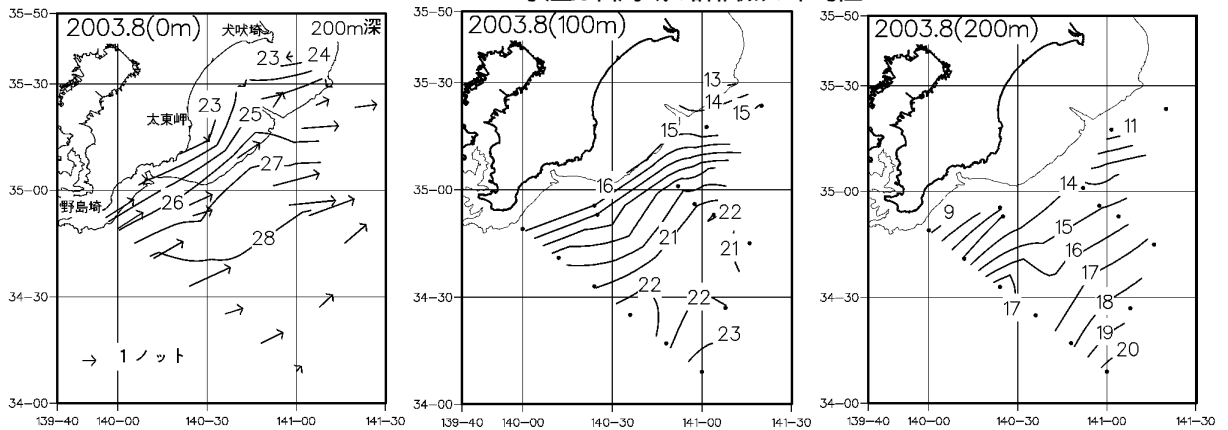


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

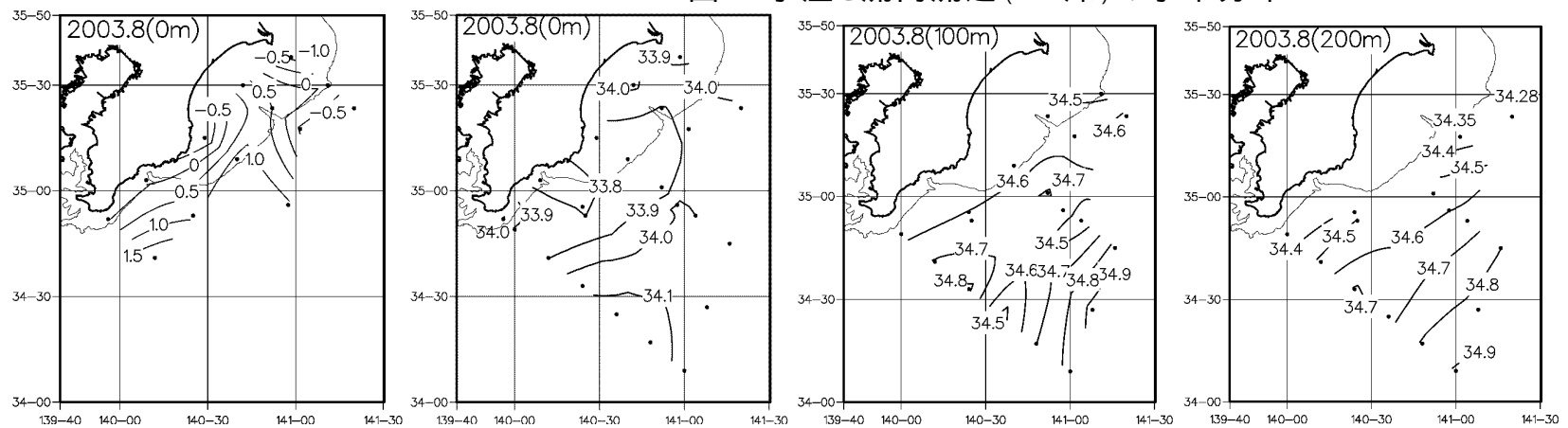


図3 水温の平年偏差

図4 塩分の水平分布

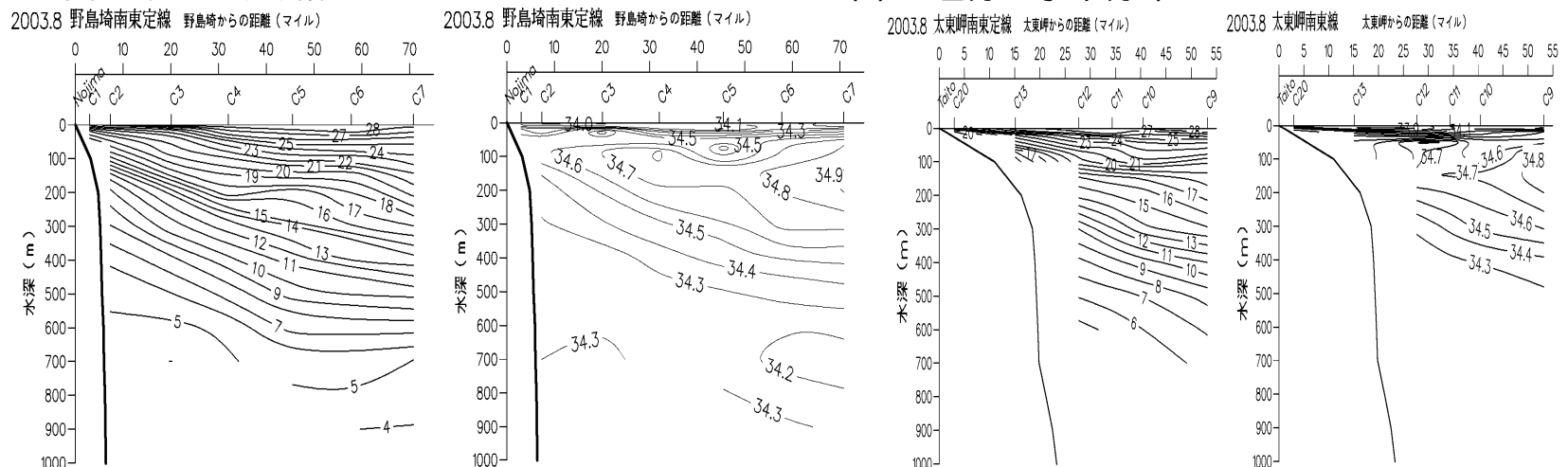


図5 水温と塩分の鉛直分布